

第 3 回「学びを促進するファシリテーション講座」 2020 年 9 月 17 日

ふりかえりシート まとめ

【参加者】 15 人 ※スタッフ 4 人（県多文化共生課 2 人、県国際交流協会 2 人）を含まない。
（内訳）日本語支援者 12 人（磐田市関係 4 人、菊川市関係 8 人）
国際交流協会スタッフ 2 人（磐田国際交流協会 1 人、袋井国際交流協会 1 人）
行政職員 1 人（磐田市 1 人）

【回収数】 15 枚 ※日本語支援者の内、1 人が未提出（早退のため）

【1】講座の内容はいかがでしたか。

	よかった				よくなかった
	5	4	3	2	1
〈集計〉	13 人	2 人	0 人	0 人	0 人

〈理由〉

- ・ファシリテーションのたいせつさとポイントがよくわかりました。
- ・進め方 勉強になりました。
- ・参加型だったので、一方的に話を聞くよりもわかりやすかった。
- ・業務に活きる内容であった。
- ・ファシリテーションという言葉は始めて知ったが、内容は良くわかった。
- ・自己紹介→2 人→4 人流れ。区切りで必ず確認。
- ・具体的でとても分かりやすかったです。
- ・日本語講師講座でファシリテーションについて詳しく学んだことがありませんでしたので新鮮で気づきも多かったです。
- ・自分達で考えたり、発言しながら、進行して頂いて、充実感がありました。
- ・これからの活動に生かせる内容でした。
- ・実際に話し合っって体験してみたため。

【2】内容はわかりやすかったですか。

	わかりやすかった				わかりにくかった
	5	4	3	2	1
〈集計〉	14 人	1 人	0 人	0 人	0 人

〈理由〉

- ・お話もわかりやすく、楽しく聞くことができました。
- ・具体例の話が分かりやすかった。
- ・体験型学習であったため、学んだことを、実践しながら参加できた。
- ・2人、4人、6人とグループを分けて行ったグループワークがよかった。
- ・受講者間で話し合い。又、足してアドバイス。わかりやすい例え話。
- ・講義の中で自然とファシリテーターになったりと、実際に体験することでわかることが多かったです。
- ・参加者からの声をもとに、展開して頂けて、身近に感じられ、わかりやすかった。
- ・参加型の講座で充実していました。
- ・身近な話題が多かったため。

●気づいたこと、感じたこと

〈磐田市関係者〉

- ・時間に限りのある中で、どのようにすすめていったらよいかがとてもよくわかりました。うまく活用していきたいと思います。ありがとうございました。ぜひまたお話をうかがいたいです。
(渥美久美子：(一社) 磐田国際交流協会)
- ・ファシリテーションの説明を聞ける機会が少ないので今回の講座は役に立った。(貴重な機会だった)(澤野孝光：(一社) 磐田国際交流協会)
- ・ファシリテーターの心掛け…ポイントが書かれて気づきがありました。ビジネスの世界も同じだなと思う処が多々ありました。(藤村克英：(一社) 磐田国際交流協会)
- ・「ファシリテーションとは？」と自分の中でよくわかっていなかったが、今日、その一步がふみ出せた気がしました。学んだ事が多かったので家でゆっくりまとめたいと思いました。自分の中では特に、「質問する力」が弱いなど講座を聞いていて思いました。学習者にやる気が出るようなファシリテーション、いつかしたいです。(松浦祐子：(一社) 磐田国際交流協会)
- ・ファシリテーター＝司会・進行ではない、と学んだ。今後、参加する側でも、ファシリテーションを意識して参加したい。問いかけに対する沈黙は、言葉を被せるのではなく、「待つ」姿勢が大事であると学んだ。→10月実践の機会があるため、活用したい。(森優也：磐田市地域づくり応援課)
- ・ファシリテーターがやる気をうみだす手助けをする人という例えがわかりやすく、腹落ちしました。教室活動で具体的に活かす方法も色々話してくださって、今の活動を良くしていけそうだと感じました。よく観察してその場に合わせ対応すること、実際にやるのはむずかしいと思いますが、意識することで少しずつできるようになりたいと思います。ありがとうございました。(川添裕子：(一社) 磐田国際交流協会)

〈菊川市関係者〉

- ・20人の参加者をグループサイズで分けて行う方法はより多くの人が発言する機会を作る。A4 1枚でまず質問を自分で書き、公表することも発言と同じことがわかった。話し合いの時間を決めたこともよい。(太田光輝：菊川市国際交流協会)
- ・助産婦の例えがとても印象に残りました。会議や授業にとどまらず、人と普段接する時にも、生活の中で意識して取り入れてゆきたいと思いました。同じ講座を受けたみなさんと、日本語教室のお手伝いをさせていただく上で、忘れてしまったことも、気づかせていただいたり思い出さ

せていただける気がします。ありがとうございました。まり子先生の講座又、受けたいです。

（太田理恵）

・主役は学習者、という言葉がとても印象的でした。私達も研修等を受けて、ただ聞くだけのものと、このように体験するものとは吸収率が違うように思います。普段から体験（型）の場を創りだしていくようにしたいと感じました。質問に答えていただきありがとうございました。ファシリテーションにとっても興味がわきました。（菅野真紀：虹の架け橋菊川小笠教室）

・指導ではなく、“支援”という言葉がとても心に残りました。教えるでは相手に一方的に押しつけてしまうのでしたら促進させ、やる気を出させることができるのか、ファシリテーターとして、自分の立ち振る舞いをもう一度見直したいです。（坂部果歩：虹の架け橋菊川小笠教室）

・ファシリテーションの意味が、良くわかりました。更に深く今後は、ファシリテーションについて勉強していきたいです。有難うございました。（鈴木耕二：菊川市国際交流協会）

・自分の姿勢への気づき。（高山晃：袋井国際交流協会）

・講義を聞くだけでは受け身でわかったような気になって終わるが、参加型では、自分の考えを整理したり深めたり、主体的に学ぶことができるということがよくわかりました。教室活動にぜひ生かしていきたいと思います。（本多純代：袋井国際交流協会）

・ファシリテーションは、日本語教育だけでなく、日常生活の中で（対話活動の中で）も必要な事だと思いました。大変分かりやすい説明でした。ありがとうございました。（松下彰：菊川市国際交流協会）

・「目的と目標を意識」することは、日常指導の中で行っていますが、その過程が更に大切なことであると改めて感じました。日々の指導の中で、無意識にファシリテーターとして授業を行っていることを認識できました。（望月香：虹の架け橋菊川小笠教室）

●よくわからなかったこと、疑問に思ったこと

〈磐田市関係者〉

- ・指導者→日本語サポーターへの介入の仕方。（澤野孝光：（一社）磐田国際交流協会）
- ・メールにします。（藤村克英：（一社）磐田国際交流協会）

〈菊川市関係者〉

・本日はテレワークではなく直接講義であったため、疑問は少なかった。実践方法（初期日本語学習者への実践）は未だわからない。（太田光輝：菊川市国際交流協会）